

27年6月定例会 岡田議員一般質問（2015.6.16）

◆22番（岡田和則議員） 次は減災対策なんですけれども、2月何日かに言われましたけれども、県が想定で二、三千年に1回来るとい地震、これが10分のうちに5回くらい波が来て、14.5メートルという波で、それは二、三千年に1回だから参考の値にするというようなこと言われたかと思うんですが、それと違って、**その前に出されました明応型地震では、浸水被害区域に鎌倉市が含まれているんですけど、その内容はどんなものか、概略でよろしいですから教えていただければありがたいと思います。**

◎柿崎雅之 防災安全部長 議員お尋ねの**明応型地震に関する浸水被害等の御質問です**。神奈川県地震被害想定によりますと、明応型地震が発生した場合は、本市の最大浸水面積は3キロ平方メートルとされております。

◆22番（岡田和則議員） 本市で3平方キロメートルと言われてもわからないんで、ビジュアル的にわかるように教えてもらいたい。

◎柿崎雅之 防災安全部長 **特にこの場合の想定では、市役所の本庁舎は約半分が浸水区域に入っておりまして、浸水の深さなんですけど、深さは約50センチ程度と予測されております。**

◆22番（岡田和則議員） 50センチ程度というのは最低限で、1.2メートルまである。違いますか。

◎柿崎雅之 防災安全部長 50センチから1.2メートル程度の範囲なんですけど、詳細に見ていくと50センチ程度の範囲ということになっていると思います。

◆22番（岡田和則議員） 隣の小学校の運動場は50センチですか。

◎柿崎雅之 防災安全部長 御成小学校のところについては、50センチ以上1.2メートルまでとなっていると思います。

◆22番（岡田和則議員） 陸続きになっていないんでしょうか。

◎柿崎雅之 防災安全部長 区域のメッシュで見っていきますと、ここの役所のところについては約半分ぐらいが、議会側は入っていないんですが、議会より半分地域の、こっち側の御成小学校については50センチ程度から最大1.2メートルですが、約50センチと推計されています。

※この後、津波により本庁舎地下の受変電設備・配電設備が水没した場合について、総務部長への質疑となる。